

「食育」とは、さまざまな経験を通じて、「食」に関する知識と、「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てることをいいます。

なぜ「食育」が必要なの？

近年、ライフスタイルの変化に伴い、“朝食をとらない”“不規則な食事”“栄養の偏り”などの食生活の乱れにより、生活習慣病や肥満の増加などの問題が起きています。

みなさんが心と体の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らせるよう、健全な食生活を実践することができる力を身に着けるために「食育」が必要です。

こんなことも「食育」につながります



1 家族や友人と楽しく食卓を囲む

1日3食きちんと食べる習慣を身につける



3 自分の食事をチェックし、栄養のバランスを摂るように気をつける

みなさんもできることから食育をはじめませんか？

市では、「食育推進計画」を策定しています

この計画をもとに、保育園、学校、行政機関などの関係団体が相互に連携しながら食育の推進に努めています。みやま市の計画は、市ホームページをご確認ください。



▲食育推進計画

みやま市の食育目標

- ①食育の大切さを学び、生涯にわたる健康と、健全で豊かな人間性を育む
- ②豊かな自然に育まれた農水産物の地産地消を実践し、活気あるみやま市をつくる

きれいな歯のぼくたち・わたしたち

3歳児健診で虫歯がゼロだったお子さんです。



三つ子ちゃん 浦 颯佑 くん (瀬高町)



三つ子ちゃん 浦 昂大 くん (瀬高町)



三つ子ちゃん 浦 悠翔 くん (瀬高町)



島添 奨真 くん (瀬高町)



長 悠馬 くん (山川町)



樋口 朝大 くん (瀬高町)



堀永 和果 ちゃん (瀬高町)

掲載希望者は、写真を3歳児健診時または市役所(本庁)子ども子育て課へお持ちください。

子ども子育て課 子育て世代包括支援センター係 (Tel 64-1520)



4月28日、山川市民センターでみやま市民生委員児童委員協議会総会が開催されました。総会では功労者へ表彰伝達が行われ、【福岡県社会福祉功労者県知事表彰】廣田アキ子さん【全国民生委員児童委員連合会会長表彰】岩屋美紀さん、宮地勝宜さん、江崎豊子さんが表彰状を受け取りました。また、5月13日は「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」に合わせて、道の駅みやまで街頭啓発活動が行われ、民生委員・児童委員の存在や活動を広く周知しました。12月には、3年に1度の一斉改選が行われます。

みやま市出身の詩人をしのぶ



4月22日、中島宏記念館開館式典が行われました。中島宏は、瀬高町太神出身の詩人で「お胸の中のものがたり」などの作品を残しています。式典に出席した江崎良子さんは、「地元で、このような記念館ができて嬉しいですね」と話されました。

お胸の中のものがたり
死んだじいちゃんも
ばあちゃんも
たくさんのお話しをもつた
じいちゃんも八十年
ばあちゃんも六十年
そのあいのものがたりを
いくらか胸からひき出して
いた
だまつてるけど
父ちゃんも五十年
母ちゃんも四十年
たくさんのお話しをもつて
るだろう

ぼく十二年 お胸のぼい
思い出
それに毎日ふえていく
おもしろいこと、かなしい
こと……
これから先も 何十年と
ぼくの知らないものが待っ
ている
その中から
ぼく拾いたい
うつくしいもの とおとい
もの
ぼくのちっちゃなお胸の中に

色とりどりの鯉のぼりが青空を泳ぐ



5月5日、高田濃施山公園で「鯉恋来」が開催されました。今回は3年ぶりの開催となり、約2千人が来場。会場にはたくさんの鯉のぼりが設置され、濃施山公園での思い出を絵に描くスケッチ大会や段ボール迷路などもあり、来場した人々を楽しませました。

気象予報士の知識・経験を生かして



4月28日、新たに市の防災士として登録された、永田のりかずさんの防災士登録証交付式が市役所で行われました。永田さんは、防災士と気象予報士の資格を取得されています。松嶋市長は「防災力の向上のため、知識と経験を生かしてください」とあいさつしました。